

国語プリント No. ()

配布日 月 日 曜

年 組 番 名前

技術者的心 よみとつ

本日の課題

各班で分からないとじゅうを出し合ひ、それを分かるように読み合ひ。

仲間で議論してもどうしても分からんじゅうは、文字化して片桐に知らせてください。

既存の班でおこなうが、メンバーは固定しない。学習効率が最も上がりそうな人とおこなうじゅう。

『例として次の表現を挙げておきます。』

157 L3 「そしてこのことが、人が技術を持つていることの根拠でもあると考えてよい。」

157 L16 「それを支配している原則は、法則の適用ではなくむしろ法則への攻撃と言った方がよい。」

158 L8 「もし金属とガラスについて前記の三つの性質を考えたとしたら、極めて自然に、組み合わせによつて八種類の物質についての概念を形成したはずである。」

158 L11 「少なからぬ対象を目の前にして、それらを体験した私たちは、それを概念として整理し、その概念の組み合わせ、さらにもつと広義の演算によつて、實に豊かな世界を作つてゐる。」

159 L10 「半チップを心の中に想定したことを契機として生み出されてゐるのであつて、集積度を上げる理論ないし法則があつて、それを意識的に適用してゐるというようなものではない。」

160 L6 「アリストとロボットをくらべるとき、自然法則が強い拘束となる点がロボットをアリストと区別する唯一の点なのである。」

160 L12 「文学作品も技術的産物も、すべて人の心が生み出すものであつて、基本的に自由であり、何を生み出すかの外在的な指導原理は存在しない。存在するのは拘束条件だけである。」

メモ

